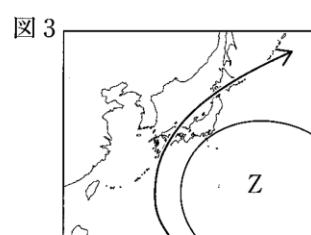
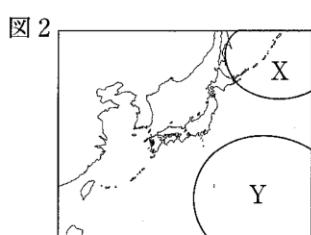
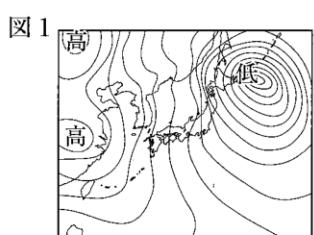


4 図1は、日本のある季節の特徴的な天気図、図2は、つゆの時期に発生する2つの気団であるX、Yを模式的に表したものである。また、図3は、ある年の9月に日本付近を通過した台風の進路を矢印で表したもので、Zは気団を模式的に表している。これについて、あととの問い合わせに答えなさい。



(1) 次の文は、図1のような気圧配置を特徴とする季節にふく季節風について説明したものである。

文中の□にあてはまる語句の組み合わせとして最も適当なものをあとから1つ選び、記号で答えなさい。

この季節になると、ユーラシア大陸上では太平洋上と比べて気温が①。その結果、ユーラシア大陸上で②ができる、ユーラシア大陸から太平洋へ向かって北西の季節風がふく。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ア ①…高くなる ②…上昇気流 | イ ①…高くなる ②…下降気流 |
| ウ ①…低くなる ②…上昇気流 | エ ①…低くなる ②…下降気流 |

(2) 図4は、図1の季節にふく季節風を模式的に表す

図4

したものである。図4のア～エのうち、大量の雪を降らせていると考えられるのはどこか。最も適当なものを1つ選び、記号で答えなさい。



(3) 図2のX、Yの気団の性質として適当なものはどれか。次からそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | |
|--------------|--------------|
| ア 冷たく、湿っている。 | イ 冷たく、乾いている。 |
| ウ 暖かく、湿っている。 | エ 暖かく、乾いている。 |

(4) 図2で、①つゆの時期に、XとYの気団の間にできる停滞前線を特に何というか。名称を答えなさい。また、②停滞前線を表す記号はどれか。次から1つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| ア | イ | ウ | エ |
| ● ● ● | ▲ ▲ ▲ | △ △ △ | ▼ ▼ ▼ |

(5) 次の文は、図3の台風の進路について説明したものである。文中の①～⑤にあてはまるものを1つ選び、記号で答えなさい。また、□にあてはまる語句を答えなさい。

夏から秋にかけて発生した台風は、最初は図3のように、Zで示した①ア シベリア気団
イ オホーツク海気団 ウ 小笠原気団のへりに沿うように日本列島付近に北上し、その後②の影響を受けて、東寄りに進路を変える傾向がある。

(1) 図1は、等圧線が南北に密に並び、西高東低の気圧配置になっているので、冬である。

(2) 冷たく乾いたシベリア気団からの北西の季節風は、日本海上で水蒸気を含み、山脈に沿って上昇する間に雲を発生させ、日本海側に大雪を降らせる。水蒸気を失った空気は山脈を下降し、太平洋側では乾いた晴れの日が続く。

(3)(4)① 冷たく湿ったオホーツク海気団(X)と暖かく湿った小笠原気団(Y)の間に東西にのびた停滞前線が発生する。この時期の停滞前線を特に梅雨前線という。

(4)② アは温暖前線、イは寒冷前線、ウは閉塞前線を表す記号である。

(1)	エ	16
(2)	ウ	17
(3)	X ア Y ウ	18
①	ぱいうぜんせん 梅雨前線	
②	エ	
(4)	完答	
(5)	ウ	
①	ウ	
②	へんせいふう 偏西風	
③	完答	